

平成30年度 草津市スポーツ推進計画の点検・評価

基本方針1	子どもの体力向上とスポーツ活動の推進		
目標	新体カテストの成績	目標値(H32)	全国平均点を上回る

単位: 点

現状値(H26)	H28	H29	H30	H31	H32
小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
男子 53.06	男子 54.01	男子 53.96	男子 55.59	男子 -	男子 -
全国 53.91	全国 53.92	全国 54.16	全国 54.21	全国 -	全国 -
女子 53.59	女子 53.99	女子 54.70	女子 55.30	女子 -	女子 -
全国 55.01	全国 55.54	全国 55.72	全国 55.90	全国 -	全国 -

【成果・課題】

立命館大学スポーツ健康科学部と協働で取り組む「小・中学校体力向上プロジェクト」において、体育授業の数分間で取り組める「短時間運動プログラム」を定着させるとともに、コーディネーション能力を向上させるための運動を開発・検証してきた結果、今年度の小学5年生男子の成績は、昨年度に比べ大きく上昇し、全国平均を大きく上回った。また、小学5年生女子も全国平均点は下回ったものの、成績は大きく上昇し、昨年度よりも全国平均点との差が縮まった。

男女ともに運動が好きな児童と嫌いな児童の間で成績に大きな差が生じていることから、さらなる新体カテストの成績向上に向けて、運動好きの子どもを増やすことが課題である。

【今後の取組】

「小・中学校体力向上プロジェクト」において、楽しみながら、意欲的に取り組めるよう体育授業の改善を行うとともに、現在実施しているジュニアスポーツフェスティバルやダンス教室等の事業内容を充実させ、運動好きの子どもの育成を図る。

また、既存の「短時間運動プログラム」について、各校の取組状況を把握するとともに、より効果の高い活用方法を検討していく必要がある。

基本方針2	生涯スポーツ活動の推進		
目標	成人(20歳以上)の週1回30分以上のスポーツ実施率	目標値(H32)	65%以上

単位: %

現状値(H26)	H28	H29	H30	H31	H32
54.8	50.8	49.6	51.8	-	-

【成果・課題】

「草津市民スポーツ・レクリエーション祭」などの各種スポーツイベントを実施した結果、成人の週1回30分以上のスポーツ実施率が2.2ポイント上昇した。年齢別に見ると、50代から80代までの健康を意識する年代においてスポーツ実施率が高くなっている。一方で、30代から40代までのスポーツ実施率が低く、仕事や子育てによりスポーツする時間がないこと等が要因と考える。こうした年齢別の動向はスポーツイベント参加者の年齢構成にも同様の傾向が見られており、啓発を行うべき世代に対して効果的なアプローチが行えなかった。

【今後の取組】

目標値を達成するには、30代から40代のスポーツ実施率を上げることが重要である。若い世代がイベントに参加できる工夫を行い、一過性ではなく継続してスポーツに取り組んでもらえるようなきっかけづくりを行う必要がある。

基本方針3	地域コミュニティによるスポーツの推進		
目標	地域スポーツクラブ設立数	目標値(H32)	8クラブ

単位:クラブ

現状値(H26)	H28	H29	H30	H31	H32
4	4	5 ※設置された学区は5学区	5 ※設置された学区は6学区	-	-

【成果・課題】

より身近に様々なスポーツができる機会や環境の充実に向けて、地域スポーツクラブの目的や意義等について周知・啓発を図ってきた結果、現在、5つのスポーツクラブが6学区で活動している。
また、クラブ未設置の学区においても、まちづくり協議会等が中心になって、スポーツ教室や体験の場を提供している。
課題としては、さらなるクラブの設立に向けた取組と、既存クラブの運営に固定化・高齢化がみられるので、持続可能な組織に向けた検討が必要である。

【今後の取組】

地域コミュニティを中心とした本市の生涯スポーツの推進に向けて、クラブを設立していない地域に対し、地域スポーツクラブの説明会を体育振興会連絡協議会で開くなどの働きかけを行うとともに、既存のクラブについても、地域スポーツクラブ間の交流を通じて、各クラブの特長を参考とした、よりよいクラブ運営を検討していく場を設ける。

基本方針4	競技スポーツの推進		
目標	滋賀県民体育大会における草津市の総合得点	目標値(H32)	95.00点

単位:点

現状値(H26)	H28	H29	H30	H31	H32
75.00 ※2位	58.00 ※6位	62.00 ※5位	55.00 ※4位	-	-

【成果・課題】

公益社団法人草津市スポーツ協会の運営や活動を支援し、運営体制の強化に取り組んできた結果、市内の各競技団体の総括組織として競技団体の活動促進につなげることができた。
草津市の競技力の指標とした滋賀県民体育大会における草津市の総合得点は、上位に入賞する競技が減少し、全体として競技点が低調になっていることから、下落傾向にあるものの、郡市別の順位は上昇傾向にある。

【今後の取組】

市内の競技団体の活発な活動の促進に向けて、引き続き、公益社団法人草津市スポーツ協会の運営や活動を支援し、さらなる運営体制の強化に努める。
また、競技力の向上に向けて、指導者の確保・育成ならびに選手の発掘・育成を一層推し進めていくために草津市スポーツ協会を中心として市内の競技団体や滋賀県スポーツ協会などの関係団体と一層の情報共有や連携に取り組むことが重要となる。

基本方針5	スポーツ環境の充実		
目標	社会体育施設 ホームページアクセス数	目標値(H32)	100,000アクセス

単位:アクセス

現状値(H26)	H28	H29	H30	H31	H32
36,406	150,293	213,022	146,691 ※12月現在	-	-

【成果・課題】

これまでから、社会体育施設の指定管理者である合同会社草津市スポーツ振興事業体により、社会体育施設のウェブページ「草津市スポーツ情報ネット」の充実に取り組んでいるところであり、施設予約情報閲覧システムやグーグル社のインドアビュー（ストリートビュー機能の一部）のサービスを導入しながら、HPアクセス数を高い水準で維持し、市民がスポーツ情報に触れる機会の充実を進めている。

【今後の取組】

市内のスポーツ団体等と一層連携を密にした情報発信や、様々な情報伝達ツールの活用により効率的かつ効果的に情報の発信や収集を行うことで、さらなる施設の利用促進や利用者の利便性向上等を図る。
また、本市のスポーツ環境の充実や市民のスポーツ健康づくりの実現に向けて、適宜、社会体育施設の改修や修繕に取り組む。

草津市スポーツ推進計画 実施事業一覧

基本理念 “ALLくさつ”でつくる『みんながスポーツ大好きなまち くさつ』

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	平成30年度 評価		
1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進	新体力テストの成績	(1) 乳幼児・児童の運動(遊び)の推進	① 遊びを通じた運動・スポーツの充実	子どもの運動・遊び推進事業	幼児課 子育て相談センター	草津市	認定こども園、幼稚園、保育所、子育て相談センター	3		
			② 親子で楽しむ運動・スポーツ機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	3		
			③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実	地域協働学校	生涯学習課	各推進組織	地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者 など	3		
			④ トップアスリートと連携したスポーツ機会の充実	くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	草津市	MIOびわこ滋賀、小学校	3		
		(2) 学校体育の充実	① 授業内容の充実と体育指導の向上	小・中学校体力向上プロジェクト事業	スポーツ保健課	草津市	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟、立命館大学	4		
			② 大学と連携した学校体育の充実	ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU	スポーツ保健課	草津市	小学校体育連盟、立命館大学	4		
		(3) 運動クラブ・部活動の充実	① 小・中学校体育連盟の連携強化	小・中学校体育連盟活動推進事業	スポーツ保健課	草津市	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟	3		
			② スポーツ関係団体や大学等と連携した運動クラブ・部活動の支援	運動クラブ・部活動支援事業	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会、立命館大学	3		
		(4) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援 ※基本方針4-(2)参照	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	草津市	スポーツ少年団(スポーツ協会)	3		
			(5) スポーツ傷害の予防	① スポーツ傷害に関する学習の推進	スポーツ傷害予防講習会	スポーツ保健課	草津市	中学校体育連盟	3	
② スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成	スポーツ指導者講習会	スポーツ保健課		草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会	2				
2 生涯スポーツ活動の推進	成人の週1回30分以上のスポーツ実施率	(1) 身近なスポーツイベントの充実	① 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	草津市民スポーツ・レクリエーション祭 草津川跡地公園での健康イベント	スポーツ保健課 健康福祉政策課	体育振興会連絡協議会 草津市	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会 草津まちづくり株式会社	3 3		
			② スポーツ活動機会の充実	チャレンジスポーツデー	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、立命館大学	3		
			③ 障害者が参加できるスポーツイベントの支援・充実	草津市いきいきふれあい大運動会	障害福祉課	心身障害児者連絡協議会		3		
		(2) スポーツを通じた健康づくりの推進	① ウオーキングの推進	ウオーキング推進事業 草津版ヘルスツーリズム実証実験	スポーツ保健課 企画調整課 商工観光労政課	草津市	スポーツ推進委員協議会 くさつ健・交クラブ 観光物産協会、立命館大学	4 3		
			② ランニングの普及	ランニングイベントの開催	都市再生課	民間事業者	草津まちづくり株式会社	2		
			③ ライフステージに応じた事業の推進	くさつ健康ポイント制度	健康増進課	草津市		3		
			④ くさつ健康はつらつ体操等の普及・促進	くさつ健康はつらつ体操	健康増進課	健康推進員連絡協議会		3		
		(3) 高齢者の健康づくりの推進	① 高齢者が気軽に参加できる事業の推進	老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	草津市	老人クラブ連合会	3		
			② いきいき百歳体操等の普及・促進	いきいき百歳体操	長寿いきがい課	草津市		3		
		(4) 食育による健康づくりの推進	① 子どもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	健康推進員連絡協議会		3		
			② 高齢者の食育の推進	草津歯口からこんにちは体操	長寿いきがい課	草津市		3		
		3 地域コミュニティによるスポーツの推進	地域スポーツクラブ設立数	(1) スポーツ推進委員活動の推進	① 地域のスポーツ活動の活性化	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ保健課	スポーツ推進委員協議会		5
					② 地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ保健課	スポーツ推進委員協議会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ	4
(2) 体育振興会活動の活性化	① 学区単位のスポーツ活動の活性化			地域スポーツイベントの開催	スポーツ保健課	各体育振興会	各スポーツ推進委員	3		
	(3) 総合型地域スポーツクラブ活動の活性化			① 地域スポーツクラブ設立の支援	地域スポーツクラブ設立支援事業	スポーツ保健課	草津市	各体育振興会、各スポーツ推進委員	3	
② 総合型地域スポーツクラブの支援				総合型地域スポーツクラブ事業補助金	スポーツ保健課	草津市	くさつ健・交クラブ	3		
(4) 各種関係団体との連携強化	① 各種関係団体との連携強化			各種関係団体と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	各体育振興会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ	3		
	(5) 大学や企業等との連携強化			① 大学等と連携したスポーツ活動の推進	大学等と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	各体育振興会	立命館大学、市内高等学校	3	
② 企業等と連携したスポーツ活動の推進				くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	草津市	MIOびわこ滋賀	3		

草津市スポーツ推進計画 実施事業一覧

基本理念 “ALLくさつ”でつくる『みんながスポーツ大好きなまち くさつ』

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	平成30年度 評価	
4 競技スポーツの推進	滋賀県民体育大会における草津市の総合得点	(1) スポーツ協会活動の活性化	① スポーツ協会の支援	スポーツ協会運営・事業補助金	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会	3	
			② 国民体育大会に向けた競技力の向上	国民体育大会に向けた選手の発掘・育成	スポーツ保健課	スポーツ協会		3	
		(2) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援 ※基本方針1-(4)記載	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	草津市	スポーツ少年団(スポーツ協会)		3
			(3) 各種大会出場者への支援	① 激励金の交付	スポーツ選手各種大会出場激励金	スポーツ保健課	草津市		3
		② スポーツ顕彰の実施		草津市民スポーツ大賞	スポーツ保健課	草津市		3	
		(4) 障害者スポーツの推進	① 障害者アスリートへの支援	障害者アスリート各種大会出場激励金	障害福祉課	草津市		3	
			② 草津市立障害者福祉センター・県立障害者福祉センター等との連携による障害者スポーツの推進	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	各関係団体		3	
		(5) 将来を担うアスリートの育成	① ジュニアアスリートの育成	各種ジュニアスポーツ教室	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会		3
			② 専門性を生かしたアスリートの育成	大学・企業等と連携したアスリート育成	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、立命館大学		4
		(6) 競技大会の推進	① 草津市民体育大会の開催	草津市民体育大会	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会		3
			② 各種競技大会の開催	各種競技大会	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会		3
		5 スポーツ環境の充実	社会体育施設ホームページアクセス数	(1) 指導者の育成・ボランティア機会の充実	① 指導者の育成	スポーツ指導員等資格取得支援事業	スポーツ保健課	スポーツ協会	
② スポーツ協会との連携	指導者人材バンク				スポーツ保健課	スポーツ協会		3	
③ スポーツボランティアの育成	スポーツボランティア登録制度				スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ		2
④ スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用				スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ		3
(2) 新たなスポーツ情報発信システムの構築	① ホームページを活用した情報発信の充実			草津市スポーツ情報ネットの充実	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会		4
	② 各種情報メディアを活用した情報発信の充実			草津市スポーツ情報紙の発行	スポーツ保健課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会		3
(3) 社会体育施設等の整備・充実	① (仮称)野村スポーツゾーンの整備			野村公園整備事業	公園緑地課	草津市	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学		3
	② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設の整備・充実			社会体育施設等整備改修事業(国スポ整備)	スポーツ保健課 プール整備事業推進室	草津市	スポーツ協会		3
	③ 施設のバリアフリー化の推進			社会体育施設整備改修事業(営繕)	スポーツ保健課	草津市	スポーツ協会		3
	④ 地域まちづくりセンター等の地域の身近な施設の活用			地域まちづくりセンター貸館事業	まちづくり協働課	草津市、各学区まちづくり協議会			3
	⑤ 公園の整備・充実			児童公園等再整備事業	公園緑地課	草津市	各町内会		3
(4) 学校体育施設開放の充実	① 学校体育施設開放の充実			学校体育施設開放事業	スポーツ保健課	草津市	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ		4
(5) 企業等管理施設の有効活用	① 企業等管理施設の有効活用			企業等管理施設の一般開放の検討	スポーツ保健課	草津市	企業等		2
(6) スポーツ観戦機会の充実	① (仮称)野村スポーツゾーン等を生かしたスポーツイベントの推進			野村公園整備事業	公園緑地課	草津市	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学		3
	② 近隣自治体等との連携			自転車競技大会の開催協力	商工観光労政課	草津市	滋賀県・京都府自転車競技連盟		3

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画
① 遊びを通じた運動・スポーツの充実	子どもの運動・遊び推進事業	幼児課・子育て相談センター	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	認定こども園、幼稚園、保育所、子育て相談センター	目標	様々な運動(遊び)を通じて、子どもの体力・運動能力の向上と、親同士や子ども同士の交流を深めるきっかけづくりにつなげる。				
			事業内容	認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動(遊び)の充実を図り、また子育て支援センターにおいて、遊び場の提供や親子で身体を動かすことができるイベントを開催する。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動(遊び)を毎日実施した結果、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の向上につながった。	区分	継続				
			課題	引き続き、各園所の特色を生かした運動(遊び)の実施を推進していくと共に、園庭の大きさ等、限られた環境の中での活動内容の工夫を行なっていくことが必要である。	計画	◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催	◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催	◆各園所 元気ひろば、相撲遊び等の実施 ◆子育て相談センター 各種イベントの開催	◆各園所 元気ひろば、相撲遊び等の実施 ◆子育て相談センター 各種イベントの開催	◆各園所 元気ひろば、相撲遊び等の実施 ◆子育て相談センター 各種イベントの開催
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	◆各園所 ・元気ひろば 10園所 ・リズム運動 6園所 ・サッカー教室 6園所 ・マラソン大会 1園所 ・相撲遊び 1園所 ◆子育て支援センター ・ツインフレンズ「ミニ運動会」(10月) ・父親教室「防災運動会」(11月)	◆各園所 ・元気ひろば 10園所 ・リズム運動 6園所 ・サッカー教室 6園所 ・マラソン大会 1園所 ・相撲遊び 1園所 ◆子育て支援センター ・ツインフレンズ「ミニ運動会」(10月) ・父親教室「手はり体験」(10月)	◆各園所 ・元気ひろば 8園所 ・リズム運動 5園所 ・サッカー教室 4園所 ・相撲遊び 1園所 ◆子育て相談センター ・特別講座「親子で楽しむ運動遊び」 ・ツインフレンズ「ミニ運動会」(10月)		
② 親子で楽しむ運動・スポーツ機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	目標	スポーツを通じて、親子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。				
			事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	児童期対象の教室について、児童のスポーツの楽しさや充実感の醸成が図れた。その結果、乳幼児期に親を通じて運動の重要性を伝えることができたのと同時に、教室を通じて子育て世代同士のコミュニケーションを図る場の提供ができた。	区分	継続				
			課題	乳幼児を対象とした運動教室の実施には児童の親の出席が必要不可欠のため、子育て世代の親が参加しやすい時間や場所等を考慮し、参加しやすいプログラムの工夫と周知が必要である。	計画	乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室	乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室	乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室	乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室	乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	乳幼児期対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・楽しいスポーツ教室 ・ジュニアスポーツ教室	乳幼児期対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・小学生スポーツ教室 ・夏休みジュニアスポーツ教室	乳幼児対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・小学生スポーツ教室		
③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実	地域協働校	生涯学習課	実施主体	各推進組織	実施計画					
			関係団体等	地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者 など	目標	学校・家庭・地域の協働を通じて、生涯を通じた学びや活動に関心を持つことができる機会の充実を図る。				
			事業内容	学校・家庭・地域が、それぞれの持つ教育機能を生かしながら、子どもと大人が地域文化や、現代的課題等について学び合い、かわり合い、よろこび合い、認め合いの協働を積み重ねる社会を目指した活動を推進する。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	学校の地域協働校事業の取組で、命の授業(着衣泳)、伝統文化の継承(江州音頭)、クラブ活動・部活指導等、地域住民等の支援を得て行った。しかし、今年度、小学校では英語授業の時間数増加に伴い、地域協働校事業の精選が行われ、活動回数・支援者数が減少した。中学校では、部活指導者との日程調整が難しく減少した。	区分	継続				
			課題	地域住民等によるより専門的な指導は、今後の地域協働校事業の取組の中でも重要と考えるため、多くの方に支援していただけるよう、小学校では地域と学校の架け橋である地域コーディネーターを中心に、また、中学校では大学と連携する等、人材発掘する必要がある。	計画	支援者数 200人	支援者数 205人	支援者数 210人	支援者数 215人	支援者数 220人
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	支援者数 201人 ・スポーツ体験・交流活動 34回 141人 ・部活動 50回 60人	支援者数 280人 ・スポーツ体験・交流活動 57回 141人 ・部活動 106回 139人	支援者数 155人 ・スポーツ体験・交流活動 48回 116人 ・部活動 35回 39人		

(1) 乳幼児・児童の運動

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
	④ トップアスリートと連携したスポーツ機会の充実	くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	児童がスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげる。				
				関係団体等	MIOびわこ滋賀、小学校	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				事業内容	市内の小中学校においてMIOびわこ滋賀と連携した体育の授業を行い、児童とMIOびわこ滋賀の選手等のトップアスリートが交流できる機会の充実を図る。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	トップアスリートとの交流を通じて、児童がスポーツに限らず自分の夢や希望に向かって努力する大切さを認識した。新たに中学校やスポーツ少年団事業でも事業を行うことができた。	計画	市内小学校 3校	市内小学校 5校	市内小学校 5校	市内小学校 5校	市内小学校 5校
				課題	リピート率の高い反面、新規の利用が少ないため、多くの学校で体験いただけるようPRしていく必要がある。	実績	市内小学校 5校 ・志津南小学校 6年 ・草津小学校 4年～6年 ・山田小学校 6年 ・玉川小学校 3年 ・常盤小学校 5年	市内小学校 4校/6回 ・渋川小学校 6年 ・老上小学校 4年 ・志津小学校 4年 ・玉川小学校 4年(3回)	市内小学校 4校 ・志津南小学校 6年 ・渋川小学校 6年 ・老上小学校(予定) ・草津中学校(予定) 市スポーツ少年団		
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった						
(2) 学校体育の充実	① 授業内容の充実と体育指導の向上	小・中学校体力向上プロジェクト事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上につなげる。				
				関係団体等	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟、立命館大学	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				事業内容	児童が楽しみながら、体力向上を図れるよう、ダンス教室を開催する。また、児童・生徒が意欲的に体育授業に取り組めるよう、立命館大学と協働して授業内容の研究と充実を図るとともに、指導者の資質向上に努める。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	ダンス教室では、指導内容や方法を工夫していただくことで、昨年度より「ダンス教室がとて楽しかった」と回答する児童の割合が増加した。また、立命館大学の協力のもと新たな短時間運動プログラムの開発・検証や授業改善にも精力的に取り組んだ。その結果、児童生徒の体力は右肩上がりに上昇している。	計画	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回
				課題	児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上に、より効果的な施策を実施していくためにも、関係団体との連携をより強化していく必要がある。	実績	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 短時間運動プログラム(小) 14校	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 短時間運動プログラム(小) 14校	ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 0回 体育実技研修会 0回 短時間運動プログラム(小) 14校		
				評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった						
(2) 学校体育の充実	② 大学と連携した学校体育の充実	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	児童が様々なスポーツの体験・出会いを通じて、運動をすることが好きになるきっかけづくりにつなげる。				
				関係団体等	小学校体育連盟、立命館大学	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				事業内容	市内の小学6年生が一堂に会するスポーツイベントを立命館大学と連携して開催し、日ごろの体育授業の取組の成果を発揮する場や大学の様々な運動部と交流できる機会をつくる。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	今年度は、昨年度の反省もあり、雨天プログラムを作成したが、当日は見事な晴天になり、無事に実施できた。立命館大学の学生の方々がわかりやすくスポーツの魅力を教えてくださり、評判も良かった。	計画	10月開催	10月開催	10月開催	10月開催	10月開催
				課題	雨天時のプログラムをさらに充実させ、長縄8の字跳び以外の競技を体験することができないか検討をする必要がある。	実績	10月14日開催 市内小学6年生 1,300人参加	雨天のためクインスタジアムでの活動は中止	10月19日開催 市内小学6年生 1,330人参加		
				評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった						

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施計画							
(3) 運動クラブ・部活動の充実	① 小・中学校体育連盟の連携強化	小・中学校体育連盟活動推進事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市						
				関係団体等	小学校体育連盟、中学校保健体育連盟	目標	小・中学校体育連盟の連携を強化し、運動クラブ・部活動の活性化を図る。				
				事業内容	学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図り、その解決策等について、協議・研究する機会の充実を図る。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図るため、推進会議において意見交換を行ったことで、部活動の活動時間や休養日について規定を設け、指導者や生徒の負担軽減につなげた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回
				課題	今後、部活動の活性化を図るため、新たな方策についても検討を進める必要がある。また、大会前の練習時間の増加にも課題がみられるので、規定内で活動できるよう取組を進める。	実績	推進会議 年3回	推進会議 年3回	推進会議 年3回		
	評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった									
	② スポーツクラブ関係団体・体部や活大等の連携した運動	運動クラブ・部活動支援事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市						
				関係団体等	スポーツ協会、立命館大学	目標	児童・生徒の競技力や運動クラブ・部活動に取り組む意欲の向上につなげる。				
				事業内容	運動クラブ・部活動の充実した運営体制の構築を図るため、スポーツ関係団体や大学等と連携し、指導者や支援員の派遣等を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	運動部活動の指導に不安を抱える部を対象に草津市スポーツ協会の人材バンクを活用した「運動部活動支援員制度」に加え、今年度から国の補助制度を利用して「運動部活動指導員制度」を実施した。	区分	検討	新規	継続	継続	継続
						計画	先進事例研究	新制度創設 支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)	新制度創設 支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)	支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)	支援件数 12件 (市内6中学校×2名配置)
課題				「運動部活動支援員制度」で構築したシステムをより効果的にするために、各関係団体等と、より綿密な連携が必要である。また、国の定める配置時間の多く、引率等も可能な「運動部活動指導員」の制度について拡充に取り組む必要がある。	実績	・大津市事例研究 ・事業実施要項(案)作成	・「運動部活動支援員制度」の創設 ・支援件数12件 (市内6中学校×2名配置)	・「運動部活動支援員制度」 ・支援件数10件 (市内6中学校×1~2名配置) ・「運動部活動指導員制度」の創設 (市内2中学校×1名配置)			
評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった										
(4) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援	スポーツ保健課	実施主体	草津市							
			関係団体等	スポーツ少年団(スポーツ協会)	目標	スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。					
			事業内容	子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
			成果	団員減少により、2つの単位団が1つに統合し、37団体となった。魅力あるスポーツ少年団活動として、はじめて、MIOびわこ滋賀と連携した体力テストを実施した。活動の充実や団員の確保に向け、本部員会議で協議を重ねており、平成31年度からの具体的な取組を検討している。	区分	継続	継続	継続	継続	継続	
					計画	団員数 800人	団員数 910人	団員数 940人	団員数 970人	団員数 1,000人	
			課題	子どもたちや保護者のニーズは多様化しているなか、魅力的なスポーツ少年団活動となるよう、啓発の強化や活動の充実等の取組を行う必要がある。	実績	団体数 37団体 団員数 906人 事業実施回数 10回	団体数 38団体 団員数 953人 事業実施回数 10回	団体数 37団体 団員数 902人 事業実施回数 10回			
評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった										

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
(5) スポーツ傷害の予防	① スポーツ傷害に関する学習の推進	スポーツ傷害予防講習会	スポーツ保健課	実施主体	草津市				
				関係団体等	中学校保健体育連盟				
				事業内容	生徒が自身や他者の健康や安全を保持していくことで、継続的にスポーツできるよう、中学校におけるスポーツ傷害に関する学習を推進する。H30からは中学生にとってより関心が高そうな内容に変更し、1回の時間を長くするなど事業の充実を図る。				
				成果	スポーツ傷害予防の講習会においては、傷害予防に関することを学ぶだけでなく、怪我の減少につながるトレーニングについても実習した。生徒の傷害予防に対する意識を高めるとともに、運動中の怪我の減少にもつながった。				
				課題	日頃の体育の授業や部活動の時間において、傷害予防につながるストレッチやトレーニングを自ら取り組めるよう、さらに具体的な実践方法について学ぶ機会を持てるよう検討を進めていく。				
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった			
			目標	生徒のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、スポーツ活動中の事故等の予防に努める。					
			年度	H28	H29	H30	H31	H32	
			区分	継続		継続		継続	
			計画	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回	
			実績	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回	スポーツ傷害にかかる実技講習会 8回			
	② スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成	スポーツ指導者講習会	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体				
関係団体等				スポーツ協会					
事業内容				子どもが継続してスポーツに取り組んでいけるよう、スポーツ傷害に関する豊富な知識を持つ指導者の育成を図る。					
成果				スポーツ協会では、競技団体やスポーツ少年団の指導者を対象とした講習会を開催した。理学療法士や大学教授を講師に迎え、怪我をしない体の使い方やストレッチの方法など、実技指導を交えた実践向けの講習会とした。					
課題				指導者にとって、関心の高いテーマとすることや、別の説明会と講習会を同時開催とするといった取組みにより、参加者が増加する工夫を引き続き行う必要がある。					
評価				2	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった				
		目標	指導者のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、子どものスポーツ活動中の事故等の予防に努める。						
		年度	H28	H29	H30	H31	H32		
		区分	継続		継続		継続		
		計画	指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回	指導者講習会 1回 専門講座 3回		
		実績	指導者講習会 1回	指導者講習会 2回	(スポーツ協会) 指導者講習会 2回				

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施計画						
(1) 身近なスポーツイベントの充実	① 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	草津市民スポーツ・レクリエーション祭	スポーツ保健課	実施主体	体育振興会連絡協議会					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会					
				事業内容	子どもから高齢者までみんなでスポーツを楽しむことができるニュースポーツ等を実施し、市内14学区の連携と親睦を図り、生涯スポーツの普及と発展、市民の健康促進を図る。					
				成果	雨天によりイベント規模が縮小されたものの、各学区から多くの方に参加いただき、市民がスポーツに親しむ機会を創出することができた。					
				課題	新アリーナを利用して、市民により親しんでもらえるようなイベントとしていく必要がある。					
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
					目標	身近にスポーツを感じられる機会の充実を図るとともに、スポーツを通じた世代間の交流につなげる。				
					年度	H28	H29	H30	H31	H32
					区分	継続	継続	継続	継続	継続
					計画	参加者数 920人	参加者数 940人	参加者数 970人	参加者数 1,000人	参加者数 1,050人
					実績	参加者数 997人	参加者数 1,065人	参加者数 570人		
					実施主体	草津市				
					関係団体等	草津まちづくり会社				
					事業内容	草津川跡地公園で実施されるイベントと併せて健幸イベントを実施する。				
					成果	「健幸フェア」と「健幸ウオーク」を同時開催したことで、集客等の面で相乗効果があり、公園全体が賑やかだった。また、多様なブース等の出店により、幅広い世代に対してアプローチができ、健康づくりについての考えを深めるイベントとなった。				
					課題	秋のイベントが多く開催される時期であることから、集客増に向けた効果的な開催日程の検討や、市民の健幸意識向上に向けた他イベントとの差別化を図った内容の工夫等が必要である。				
					評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
					目標	働く世代や元気な高齢者、子どもたちなど幅広い世代に対して、健康づくりや運動のきっかけづくりを図る。				
				年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				区分		新規	継続	継続	継続	
				計画		参加者数 100人	参加者数 1,500人	参加者数 1,500人	参加者数 1,500人	
				実績		・健幸フェア 参加者 約1,300人 ・くさつ健幸ウオーク2017 (台風のため中止) ・わくわくサマーランドでも健幸イベント実施	・健幸フェア 参加者 1,138人 ・くさつ健幸ウオーク2018 参加者 320人			
				実施主体	草津市					
				関係団体等	スポーツ協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、立命館大学					
				事業内容	市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図る。					
				成果	昨年度に引き続き、スポーツ協会が事務局となり、競技団体や各学区、立命館大学と連携して実施できた。広報くさつの特集記事では、全国大会で優勝したスポーツ少年団とのコラボ記事とし、子どもたちにも関心をもってもらうよう心掛けた。					
				課題	全体としては、好天に恵まれ、昨年度の来場者数を上回る会場が多くあった。一方、事業内容の変更等で参加者が減少したところもあり、多くの方に参加いただける事業とするために、開催時期や内容の検討が必要である。					
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				目標	様々なスポーツを体験できる機会を提供することで、市民のスポーツ活動機会の充実を図る。					
				年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				計画	参加者数 5,800人	参加者数 5,900人	参加者数 6,000人	参加者数 6,100人	参加者数 6,200人	
				実績	参加者数 5,006人	参加者数 4,604人	参加者数 4,426人			

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画
③ 障害者が参加できる充実したスポーツイベントの支援	草津市いきいきふれあい大運動会	障害福祉課	実施主体	心身障害児者連絡協議会		実施計画				
			関係団体等	目標 障害のある人の体力向上と社会参加を促進する。						
			事業内容	年度 H28 H29 H30 H31 H32						
			成果	区分 継続 継続 継続 継続 継続						
			課題	計画 参加者数 570人 参加者数 570人 参加者数 570人 参加者数 570人 参加者数 570人						
			評価	実績 参加者数 621人 参加者数 625人 参加者数 613人						
			3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						
① ウォーキングの推進	ウォーキング推進事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ		実施計画				
			関係団体等	目標 誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。						
			事業内容	年度 H28 H29 H30 H31 H32						
			成果	区分 継続 継続 継続 継続 継続						
			課題	計画 歩こう会 12回 ルディックサークル 38回 ルディック大会開催検討						
			評価	実績 歩こう会 12回 歩こう会記録展示 2回 歩こう会記念事業検討 ルディックサークル 38回 健幸ウォーク開催検討						
			4	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						
	草津版ヘルスツーリズム実証実験	企画調整課・商工観光労政課	実施主体	草津市		実施計画				
			関係団体等	観光物産協会、立命館大学		目標 交流人口の増加や「健幸」が享受できる都市としての定着を図る。				
			事業内容	年度 H28 H29 H30 H31 H32						
			成果	区分 新規 継続 検討 検討						
			課題	計画 ①地域資源の掘り起こし ②ワークショップ ③実証実験(モニターツアー) ④課題の洗い出し						
			評価	実績 ①地域資源リストの作成 ②5回 ③4回 ④課題の洗い出し						
			3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	
(2) スポーツを通じた健康づくりの推進	② ランニングの普及	ランニングイベントの開催	都市再生課	実施主体	民間事業者(草津川跡地テナントミックス事業内テナント)					
				関係団体等	草津まちづくり株式会社					
				事業内容	草津川跡地テナントミックス事業により誘致されるテナントとランニングステーションを活用したイベントを開催し、ランニングの普及を図り、健康づくりに対する機運を高める。					
				成果	草津川跡地公園de愛ひるばやniwa+(ニワタス)といった、中心市街地内の公共空間を活用して、賑わい創出イベントを実施しており、企画の中に健康をテーマとしたブースやエリアを設けた。その結果、健康づくりに対する意識の高まりにつながった。					
				課題	健康に関連するイベントの実施により、健康に対する機運の上昇に寄与しているが、ランニングに特化したイベント開催は予定しておらず、ランニングの普及については別途検討する必要がある。					
				評価	2	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
				実施計画						
				目標	誰もが気軽に参加できるランニングイベントを開催し、ランニングによる健康づくりの普及につなげる。					
				年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				区分	検討	新規	継続	継続	継続	
				計画	事業内容検討	イベント開催 年2回	イベント開催 年2回	イベント開催 年2回	イベント開催 年2回	
				実績	事業内容検討	イベント開催 年2回 ・わくわくサマーランド(7月) ・健康フェア(9月)	イベント開催 年3回 ・わくわくサマーランド(7月) ・ピクニックウィーク(4月) ・アウトドアフェス(3月)			
③ ライフステージに応じた事業の推進	くさつ健康ポイント制度	健康増進課	実施主体	草津市						
			関係団体等							
			事業内容	市民の積極的な健康づくりを促進するため、けん診の受診や、健康講座への参加等、健康づくりに関する取り組み状況に応じてポイントを付与し、貯まったポイントで賞品の抽選に応募ができる。						
			成果	健康推進アプリの運用開始により、健康づくりに取り組む人のきっかけづくり、増加につながった。						
			課題	継続した健康づくりの取り組みにつながるよう、定期的なスタンプラリーの更新や健康イベントの掲載、アプリの利用方法の周知を行う必要がある。						
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった					
				実施計画						
				目標	健康づくりに対する関心の高まり、生活習慣改善に向けた行動変容のきっかけづくりやモチベーションの高まりにつなげる。					
				年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				区分	新規	継続	継続	継続	継続	
				計画	ポイント付与期間 6月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	ポイント付与期間 1月～12月	
				実績	ポイント付与期間 6月～12月 ポイント交換者 703人	ポイント付与期間 1月～12月 ポイント交換期間 5月～2月 ポイント交換者 827人	ポイント付与期間 1月～12月 抽選応募期間 1月 BIWA-TEKUダウンロード者 1,323人 1000P以上取得者 100人			
④ くさつ健康はたらつ体操等の普及・促進	くさつ健康はたらつ体操	健康増進課	実施主体	健康推進員連絡協議会						
			関係団体等							
			事業内容	地域のまつりや運動会、ふれあいサロン等において「くさつ健康はたらつ体操」を行い、体操の普及・促進に努め、市民の健康保持・増進を図る。						
			成果	回数・参加人数を増やして実施することができ、より多くの方への運動啓発を行うことができた。						
			課題	より内容の充実を図るために、指導者の育成を充実させていく必要がある。						
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった					
				実施計画						
				目標	地域におけるくさつ健康はたらつ体操の普及と促進に努め、市民の健康増進につなげる。					
				年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				計画	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	地域のイベントやサロンでの実施	
				実績	実施回数 19回 参加人数 5,508人	実施回数 16回 参加人数 3,849人	実施回数 21回 参加人数 5,483人			

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
(3) 高齢者の健康づくりの推進	① 高齢者が気軽に参加できる事業の推進	老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	老人クラブ連合会	目標	社会福祉の増進を図り、明るく活力のある高齢社会の実現を目指す。				
				事業内容	老人クラブ連合会主催の「健康フェスティバル」等の高齢者が気軽に参加できる事業を支援し、高齢者の健康づくりの機会の充実を図る。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	高齢者の健康づくりの機会の充実を図るため、老人クラブが主催するノルディック・ウォーキングを活用した「健康ウォーキング」等、高齢者が気軽に参加できる事業の支援を行った。その結果、明るく活力のある高齢社会を実現させようとする機運の高まりにつながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	会員数が伸び悩んでいることから、引き続き、老人クラブのPRについて、老人クラブ連合会と連携して力を入れていく必要がある。	計画	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催	健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	・グラウンドゴルフ大会(7月) ・健康フェスティバル(10月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(5月、11月、12月、1月)	・グラウンドゴルフ大会(7月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(毎月) (健康フェスティバル 雨天中止)	・グラウンドゴルフ大会(7月) ・健康フェスティバル(10月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(毎月)		
(3) 高齢者の健康づくりの推進	② いきいき百歳体操等の普及・促進	いきいき百歳体操	長寿いきがい課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	身体を動かすことにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。				
				事業内容	いきいき百歳体操等の軽運動の普及・促進により、地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進する。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進するため、いきいき百歳体操に取り組み団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援、出前講座等による介護予防の普及啓発を行った。その結果、新たに体操に取り組み団体は1団体ではあるが、いきいき百歳体操以外にも、草津歯口からこんにちは体操や転倒予防体操に新たに取り組み団体は増えており、介護予防への意識の高まりや取り組み継続につながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	町内会単位で実施している場合が多いが、既に実施団体が町内会数の半数を超え団体数の増加が鈍化しているため、介護予防の普及啓発の方法について検討が必要。	計画	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	実施団体数 116団体	実施団体数 120団体	実施団体数 121団体 (草津歯口からこんにちは体操 88団体、転倒予防体操 57団体)		
(4) 食育による	① 子どもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	健康推進員連絡協議会	目標	子育てを行う保護者が、離乳食の進め方を習得するとともに、保護者同士の交流により、それぞれが持つ育児不安の解消につなげる。				
				事業内容	子育てを行う保護者が、離乳食のレシピや試食、栄養バランス等に関する食育について学び、保護者同士の交流や座談会を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	離乳食レストランに参加する保護者が、離乳食の調理見学や試食ができた。また栄養バランス等に関する食育について学び、保護者同士の交流や座談会をすることで保護者の不安を軽減し疑問を解消することができた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	平成31年度は、断り組数が年度初めに多いことから、申し込み率の高い保健センター開催を1回増やして、広く参加ができるようにしていく(21回/年)	計画	月2回程度	月2回程度	月2回程度	月2回程度	月2回程度
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	年間20回開催	年間20回開催	年間20回開催		

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	目標	年度	区分	計画		
健康づくりの推進	② 高齢者の食育の推進	草津歯口からこんには体操	長寿いきがい課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	食べることにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。				
				事業内容	草津歯口からこんには体操の普及・促進により、食べることを通じて、高齢者の健康な体づくりにつなげる。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	食えることを通じて高齢者の健康づくりを推進するため、草津歯口からこんには体操に取り組む団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援、出前講座等による普及啓発を行った。その結果、新たに体操に取り組む団体が3団体増加し、健康づくりへの意識の高まりや、取り組み継続につながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	既にいきいき百歳体操に取り組んでいる団体が、草津歯口からこんには体操も合わせて実施しているが、いきいき百歳体操の実施団体数の増加が緩やかになっていることから、草津歯口からこんには体操の団体数も増加が鈍化しているため、介護予防の普及啓発について検討が必要。	計画	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。	地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。
				評価	3	実績	実施団体数 77団体	実施団体数 85団体	実施団体数 88団体		
				5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった							

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
(1) スポーツ推進委員活動の活性化	① 地域のスポーツ活動の活性化	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ推進委員協議会				
				関係団体等					
				事業内容	滋賀県スポーツ推進委員協議会等が主催する各種研修会への参加や、スポーツ推進委員相互の連携・交流を図り、スポーツ推進委員活動を推進する。				
				成果	自己研修会を3回実施することで、より多くのスポーツ推進委員が研修会へ参加することができた。また、県域研修で学んだ新しい取り組み(コグトレ)を自己研修として行った結果、スポーツ推進委員としての資質向上につなげることができた。				
				課題	県域や自己研修会以外の研修会参加者が固定化されやすいことから、引き続き研修内容をフィードバックし、資質向上を推進していく。				
				評価	5	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
	目標	スポーツ推進委員の指導力向上を図り、地域におけるスポーツのコーディネータとして各地域のスポーツ活動を推進する。							
	年度	H28	H29	H30	H31	H32			
	区分	継続		継続		継続			
	計画	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回	研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回			
	実績	研修会参加回数 5回 ・県域3、近畿1、全国1 自己研修会回数 2回 ・スポレク実技研修 ・スーパーカラム研修	研修会参加回数 5回 ・県域3、近畿1、全国1 自己研修会回数 4回 ・スポレク実技研修 ・スーパーカラム等研修2 ・救命講習1	研修会参加回数 5回 ・県域2、近畿1、全国1、指導者講習会1 自己研修会回数 3回 ・スポレク実技研修1 ・ニュースポーツ実技研修1 ・救命講習1(予定)					
	(1) スポーツ推進委員活動の推進	② 地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ推進委員協議会			
関係団体等					スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ				
事業内容					地域の各種団体等が行うスポーツ活動に積極的に協力し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。				
成果					市民や各種団体の依頼により、ニュースポーツの出前講座を積極的に行うことで、スポーツ機会の充実とニュースポーツの推進ができた。				
課題					出前講座の内容が幅広いことから、それぞれのニーズに応じた指導ができるよう、研修会に積極的に参加するなど指導力向上に努める必要がある。				
評価					4	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
目標		スポーツ推進委員の積極的な協力により、地域等におけるスポーツ活動の活性化につなげる。							
年度		H28	H29	H30	H31	H32			
区分		継続		継続		継続			
計画		協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回	協力事業数 4 出前講座回数 3回			
実績		協力事業数 4 ・健・交フェスタ ・スポーツレクリエーション祭 ・駅伝競走大会 ・レイクサイドマラソン 出前講座回数 6回 ・児童育成クラブ ・育成会 他	協力事業数 4 ・スポーツレクリエーション祭 ・レイクサイドマラソン 他 出前講座回数 4回 ・育成会 他 「ニュースポーツのすすめ」見直し	協力事業数 5 ・健・交フェスタ ・スポーツレクリエーション祭 ・くさつ健幸ウオーク ・駅伝競走大会 他 出前講座回数 3回 ・草津小学校 ・渋川やすらぎ学級 ・こなんSSN					
(2) 体育振興会活動の活性化		① 学区単位のスポーツ活動の活性化	地域スポーツイベントの開催	スポーツ保健課	実施主体	各体育振興会			
	関係団体等				各スポーツ推進委員				
	事業内容				学区運動会をはじめとした地域の各種スポーツイベントの活性化を図る。				
	成果				各地域で、運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験をはじめとしたスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた地域内交流の機会とすることができた。				
	課題				地域によっては、若い世代の参加者が少ない状況があるため、開催日やプログラム等を工夫し、より多くの方が参加しやすい環境づくりを行う必要がある。				
	評価				3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった			
	目標	地域のスポーツ活動の活性化により、地域内の交流や学区間の連携強化につなげる。							
	年度	H28	H29	H30	H31	H32			
	区分	継続		継続		継続			
	計画	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。	各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。			
	実績	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデーをはじめとしたスポーツイベントを開催した。	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験等のスポーツイベントを開催した。	各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験等のスポーツイベントを開催した。					

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価											
				実施計画											
(3) 総合型地域スポーツクラブ設立の支援	① 地域スポーツクラブ設立の支援	地域スポーツクラブ設立支援事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市					実施計画					
				関係団体等	各体育振興会、各スポーツ推進委員					目標	地域スポーツクラブの設立により、市民が身近にスポーツができる環境づくりにつなげる。				
				事業内容	市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、学区単位の地域スポーツクラブ設立の支援を行う。					年度	H28	H29	H30	H31	H32
				区分						区分	検討	新規	継続	継続	継続
				計画	学校開放事業の運営支援など設立後の支援を通じて、組織の安定化に努めた。					計画	先進事例研究	支援制度創設 設立クラブ数 5クラブ	設立クラブ数 6クラブ	設立クラブ数 7クラブ	設立クラブ数 8クラブ
				課題	まだクラブを設立していない地域に働きかけを行うとともに、既存のクラブについて、持続可能なクラブ運営ができるよう、運営の在り方について考える機会の創出を図る必要がある。					実績	市内先進地域の事例研究(志津スポーツクラブの取組について)	補助金要綱の設置 設立クラブ数 5クラブ(うち新設1クラブ)	設立クラブ数 5クラブ(対象学区:6学区)		
	評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった													
	② 総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブ事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市					実施計画					
				関係団体等	くさつ健・交クラブ					目標	くさつ健・交クラブの活発な活動により、市民が多様なスポーツ活動を行える環境づくりにつなげる。				
				事業内容	くさつ健・交クラブの活動基盤を強化するための支援を行い、活発な活動を促進し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供やスポーツができる環境を整える。					年度	H28	H29	H30	H31	H32
				区分						区分	継続	継続	継続	継続	継続
				計画	1名分の人件費補助を行い、クラブ運営体制を強化し、活動の促進につなげた。					計画	クラブ会員数 600人	クラブ会員数 630人	クラブ会員数 660人	クラブ会員数 690人	クラブ会員数 720人
課題				運営や事業の見直し等により持続可能なクラブとするための体制強化に努める必要がある。					実績	クラブ会員数 576人	クラブ会員数 583人	クラブ会員数 559人(2月現在)			
評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった														
(4) 各種関係団体との連携強化	① 各種関係団体との連携強化	スポーツ保健課	実施主体	各体育振興会					実施計画						
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ					目標	地域の各種スポーツイベント等の充実により、地域住民の主体的なイベント参画につなげる。					
			事業内容	地域の各種スポーツイベント等の充実を図るため、各種関係団体との連携を強化し、効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。					年度	H28	H29	H30	H31	H32	
			区分						区分	継続	継続	継続	継続	継続	
			計画	スポーツ推進委員の地域での活動の呼びかけや、体育振興会連絡協議会での情報交換を通じて、各学区における運動会や各種イベントの活性化を図った。					計画	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	
			課題	継続的な活動のために各団体が一層、連携を強化し、日常的な情報交換等を行う必要がある。					実績	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やチャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。	各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。			
評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった														

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価									
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	目標	年度	区分	計画
(5) 大学や企業等との連携強化	① 大学等と連携したスポーツ活動の推進	大学等と連携したスポーツ活動	スポーツ保健課	実施主体	各体育振興会		実施計画						
				関係団体等	立命館大学、市内高等学校		目標	地域住民と学生・生徒の交流を通じて、地域のスポーツ活動の活性化につなげる。					
				事業内容	地域のスポーツ活動において大学や高等学校等と連携し、大学等の専門性を生かした幅広いスポーツ活動を推進する。		年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				成果	立命館大学の協力のもと、地域における健康バンドやウォーキング事業が展開された。その結果、より専門性の高い運動メニューが住民に提供され、自主的に運動に取り組む住民が増えた。		区分	継続		継続	継続	継続	継続
				課題	他の地域へ取組を広げていくために、先進事例を広く情報提供していく必要がある。		計画	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。		立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった		実績	立命館大学の協力のもと、地域において健康バンドやウォーキング事業を実施した。		立命館大学の協力のもと、地域において健康バンドやウォーキング事業を実施した。	立命館大学の協力のもと、地域において健康バンドやウォーキング事業を実施した。	
	② 企業等と連携したスポーツ活動の推進	くさつMIO夢先生事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市		実施計画						
				関係団体等	MIOびわこ滋賀		目標	地域住民がプロスポーツを身近に感じ、スポーツに対する関心の高まりや意識の醸成につなげる。					
				事業内容	地域においてMIOびわこ滋賀の持つ専門性を生かしたスポーツメニューの提供や地域のスポーツイベント等への協力を行う。		年度	H28	H29	H30	H31	H32	
				成果	少年サッカー大会の開催に併せて、MIOびわこ滋賀の選手によるサッカー教室を行った結果、地域住民と選手等の交流につながり、身近にプロスポーツを感じる機会を持てた。		区分	継続		継続	継続	継続	継続
				課題	引き続き、専門性を生かしたサッカー教室やイベントを行うことで、地域住民との交流機会を創出する必要がある。		計画	市内2地域		市内3地域	市内3地域	市内3地域	市内3地域
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった		実績	市内1地域		市内1地域	市内3地域/6回 ・J-FREE PARK 3 ・新浜町グラウンド 2 ・三ツ池運動公園 1	

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画	
(1) スポーツ協会活動の活性化	① スポーツ協会の支援	スポーツ協会運営・事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会	目標	競技団体の統括組織として、スポーツ協会事務局の適正な運営体制を継続的に整えていく。				
				事業内容	競技団体の活発な活動を促進するため、競技団体を統括する体育協会の運営や活動の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	従来より雇用している事務局員のうち1名を、正規職員として雇用する人件費補助を行うことで、スポーツ協会の運営体制の強化を図り、その機能強化につなげた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	国民体育大会等の大規模大会に向けて、一層スポーツ協会の働きへの期待が高まることから、運営体制を強化する必要がある。	計画	体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。事務局体制の強化を行うために新たに1名分の人件費補助を行う。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	体育協会の適正な運営体制を整えるため、補助金を交付し、その運営や活動を支援した。	体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。事務局体制の強化を行うために新たに1名分の人件費補助を行った。	スポーツ協会の運営や活動の支援を引き続き行い、適正な運営体制を整えた。事務局体制の強化をさらに図るため、従来の事務局員のうち1名を、新たに正規職員として雇用する人件費補助を行った。	
	② 国民体育大会に向けた競技力の向上	国民体育大会に向けた選手の発掘・育成	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ協会	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会	目標	若い世代の選手の発掘・育成を図ることで、各種競技スポーツの競技力向上につなげる。				
				事業内容	競技団体と連携し、国民体育大会に向けた選手の発掘・育成を図る。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	競技団体や草津市スポーツ振興事業体と連携して教室を開催することで、ジュニア世代の競技力向上につなげた。特にサッカー教室では、MIOびわこ滋賀に、野球教室では、ジャイアンツのOB選手等にコーチとして協力いただいた。	区分	検討	検討	新規	継続	継続
				課題	国民体育大会に向けては、県スポーツ協会等と連携しながら、指導者の確保・育成、選手の発掘・育成を推進していく必要がある。	計画	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 500人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 600人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 700人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 800人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 900人
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	・サッカー教室 177人 ・グラウンドゴルフ教室 4人 ・テニス教室 132人 ・剣道教室 36人	・サッカー教室 167人 ・グラウンドゴルフ教室 6人 ・野球教室(小・中学生) 27人 ・テニス教室 26人 ・剣道教室 24人 ・少年少女スポーツ教室(共催事業) 270人	・サッカー教室 115人 ・野球教室(小・中学生) 250人 ・テニス教室 3月予定●●人 ・剣道教室 3月予定●●人 ・少年少女スポーツ教室(共催事業) 584人	
(2) スポーツ少年団活動の活性化	① スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ少年団(スポーツ協会)	目標	スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。				
				事業内容	子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	団員減少により、2つの単位団が1つに統合し、37団体となった。魅力あるスポーツ少年団活動として、はじめて、MIOびわこ滋賀と連携した体力テストを実施した。活動の充実や団員の確保に向け、本部員会議で協議を重ねており、平成31年度からの具体的な取組みを検討している。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	子どもたちや保護者のニーズは多様化しているなか、魅力的なスポーツ少年団活動となるよう、啓発の強化や活動の充実等の取組みを行う必要がある。	計画	団員数 880人	団員数 910人	団員数 940人	団員数 970人	団員数 1,000人
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	団体数 37団体 団員数 906人 事業実施回数 10回	団体数 38団体 団員数 953人 事業実施回数 10回	団体数 37団体 団員数 902人 事業実施回数 10回	

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	目標	実施計画				
(3) 各種大会出場者への支援	① 激励金の交付	スポーツ選手各種大会出場激励金	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	選手の大会参加や競技に取り組む意欲の向上につなげる。				
				関係団体等		年度	H28	H29	H30	H31	H32
				事業内容	競技に取り組む選手の側面的支援を行うため、各種大会出場者に激励金を交付する	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	激励金の交付を通じて、競技に取り組む選手の励みの一つとした。	計画	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。
				課題	国体やオリンピックを控え、各種大会に参加される選手が多く、交付対象となる大会の拡大等を望む意見があることから、今後のスポーツ情勢の変化に的確に対応していく必要がある。	実績	交付件数 74件	交付件数 77件	交付件数 70件 (1月現在)		
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						
(3) 各種大会出場者への支援	② スポーツ顕彰の実施	草津市民スポーツ大賞	スポーツ保健課	実施主体	草津市	目標	選手の競技に取り組む意欲の向上と、選手の活躍が市民の勇気と感動につなげる。				
				関係団体等		年度	H28	H29	H30	H31	H32
				事業内容	オリンピックや世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰し、スポーツ功労をたたえる。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	今年度は、スポーツ大賞の該当者がいなかったため、表彰に至らなかった。	計画	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。	世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。
				課題	必要に応じて、受賞基準の見直し等を進める必要がある。	実績	受賞者数 0人	受賞者数 1人	受賞者数 0人		
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						
(4) 障害者スポーツの推進	① 障害者アスリートへの支援	障害者アスリート各種大会出場激励金	障害福祉課	実施主体	草津市	目標	障害のある人の各種大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげる。				
				関係団体等		年度	H28	H29	H30	H31	H32
				事業内容	パラリンピックや全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付する。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付した。その結果、選手の大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につながった。	計画	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。
				課題	障害者の競技スポーツをより一層推進するためには、練習や移動等に対する支援についても検討する必要がある。	実績	交付件数 3件	交付件数 7件	交付件数 7件		
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価		
	福② 祉 草津市立障害者福祉センターによる障・害者スポーツの連携による障・害者スポーツ	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	障害者スポーツの裾野の拡大と競技力の向上を図る。				
				事業内容	各種関係団体等と連携し、スポーツに取り組む選手の滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援する。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	6競技中2競技が台風により大会を中止したものの、各種関係団体等と連携し、滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援した。その結果、障害者スポーツの競技力向上につながった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	障害者スポーツに対する関心を高めるための効果的な情報発信について検討する必要がある。	計画	参加者数 65人	参加者数 65人	参加者数 65人	参加者数 65人	参加者数 65人
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	参加者数 62人	参加者数 67人	参加者数 37人		
(5) 将来を担うアスリートの育成	① ジュニアアスリートの育成	各種ジュニアスポーツ教室	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会	目標	スポーツ教室を通じて、ジュニア選手の発掘や継続的なスポーツ活動の支援につなげる。				
				事業内容	スポーツ関係団体等と連携して、専門的な技術を持つ指導者を招いたスポーツ教室を開催し、ジュニアアスリートの育成を図る。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	全国大会優勝チームの監督や滋賀レイクスターズの選手、また、福岡ソフトバンクホークス所属の松田選手などのトップアスリートを講師に招聘し高度で質の高い指導を行いジュニア選手に夢と希望を与えとともに、競技力の向上をはかった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	中学生対象の教室について、応募人数が少なく中止になったことから、教室開催時期等に配慮した教室開催を検討する必要がある。	計画	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室	小学生対象 6教室 中学生対象 1教室
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	小学生対象 6教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 ソフトテニス教室(春・秋) 少年少女スポーツ教室 小学生野球教室 中学生対象 1教室 中学生バレーボール教室	小学生対象 8教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 小学生野球教室 ガールズサッカー教室 レスリング教室 他 中学生対象 1教室 中学生バレーボール教室	小学生対象9教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 レスリング教室 ソフトテニス教室 ジュニア卓球教室 小学生野球教室 ガールズサッカー教室 テニス教室 剣道教室 バレーボール教室(中止) ※応募人数が少なく中止		
(5) 将来を担うアスリートの育成	② 専門性を生かしたアスリートの育成	大学・企業等と連携したアスリートの育成	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、立命館大学	目標	大学等の専門性を生かしたアスリートの育成や支援ができる機会を継続的に提供する。				
				事業内容	大学等と連携し、より専門性の高い指導を行うなど、それぞれの専門的観点からアスリートの育成や支援を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	滋賀県で活躍されているスポーツトレーナーを招き、トレーニング講習会や体力測定会の指導に携わっていただき、専門性の高い支援の充実に努めた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	参加者の拡大や、さらなるアスリート育成に直結した事業となるよう研究を進める必要がある。	計画	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回	スポーツ講座 3回
				評価	4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	スポーツ講座 2回	スポーツ指導 週1回	・トレーニング講習会 月6回 ・体力測定会		

基本方針4 競技スポーツの推進

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施計画							
(6) 競技大会の推進	① 草津市民体育大会の開催	草津市民体育大会	スポーツ保健課	実施主体	草津市						
				関係団体等	スポーツ協会						
				事業内容	県民体育大会の選手選考会を兼ねた「草津市民体育大会」を種目別に開催し、選手の日ごろの練習の成果を発揮する場や選手間の交流する機会を提供する。						
				成果	各競技に取り組む選手の日ごろの練習の成果を発揮する場とするとともに、選手間の交流を通じて選手の競技に取り組む意欲の向上につなげた。						
				課題	種目によっては、参加者の減少傾向があることから、開催日程の工夫を行うなど、参加しやすい環境づくりと効果的な大会周知を行う必要がある。						
				評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった					
					目標	大会の開催を通じて、選手個々の競技力の向上を図り、各競技全体の競技力向上につなげる。					
					年度	H28	H29	H30	H31	H32	
					区分	継続		継続		継続	
					計画	参加者数 1,900人	参加者数 2,000人	参加者数 2,100人	参加者数 2,200人	参加者数 2,300人	
					実績	参加者数 2,508人	参加者数 2,390人	参加者数 ●●●人 ※(今後実施開催するところがあり未集計。)			
	② 各種競技大会の開催	各種競技大会	スポーツ保健課	実施主体	草津市						
関係団体等				スポーツ協会							
事業内容				「草津市武道祭」や「草津市駅伝競走大会」等、競技力の向上につながる各種競技大会を開催する。							
成果				「草津市駅伝競走大会」において、過去の参加者に案内を行うなど、広報周知を積極的に行った結果、昨年を上回る参加申込があった。							
課題				引き続き、事業内容や周知啓発の工夫を行い、参加しやすい環境づくりに向けて、関係競技団体と連携していく必要がある。							
評価				3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった						
				目標	大会の開催を通じて、各競技の競技人口拡大につなげる。						
				年度	H28	H29	H30	H31	H32		
				区分	継続		継続		継続		
				計画	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム	武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム		
				実績	武道祭参加者数 250人 駅伝参加チーム数 125チーム	武道祭参加者数 200人 駅伝参加チーム数 113チーム	武道祭参加者数 200人 駅伝参加チーム数 119チーム				

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施計画						
① 指導者の育成	スポーツ指導員等資格取得支援事業	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ協会	実施計画					
			関係団体等		目標	専門的な知識を有する指導者を育成することで、競技に取り組む選手の競技力向上や指導体制の充実につなげる。				
			事業内容	各種スポーツの指導者の資質と指導力の向上、新たな指導者の育成を図るため、スポーツ指導員等の資格取得に係る支援を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	検討の結果、財源確保が困難なことから、資格取得への新たな支援は行わず、引き続き、スポーツ少年団の認定基準を認定指導者2名以上を条件として、指導者養成を継続する。	区分	検討	検討	新規	継続	継続
			課題	個人の資格取得の支援について、財源の確保が困難なことから、スポーツ指導者資格制度の周知啓発に取り組むこととする。	計画	先進事例研究	先進事例研究 支援制度設計	支援制度創設	支援件数 2件	支援件数 2件
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	取組なし	先進事例研究	既存制度活用 スポ少指導者養成 6人		
② スポーツ協会との連携	指導者人材バンク	スポーツ保健課	実施主体	スポーツ協会	実施計画					
			関係団体等		目標	新たな指導者の発掘・育成につなげ、競技スポーツの指導体制の充実につなげる。				
			事業内容	競技別指導者の情報を集約して指導者人材バンクを構築し、ニーズに応じて、指導者を派遣する。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	人材バンク制度を活用し、指導者の派遣を行うことで、中学校部活動の充実に向けた支援を行うことができた。	区分	検討	新規	継続	継続	継続
			課題	さらなる事業の拡大に向けて、周知や事業の確保に取り組む必要がある。また、中学校部活動の活動時間に合わせた指導者の確保が難しい状況もある。	計画	先進事例研究	人材バンク制度創設 指導者派遣件数 15件	指導者派遣件数 15件	指導者派遣件数 18件	指導者派遣件数 18件
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	県内他市等の事例研究 指導者の情報集約	人材バンク制度創設 指導者派遣件数 12件	指導者派遣件数 12件		
③ スポーツボランティアの育成	スポーツボランティア登録制度	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	目標	スポーツボランティアの協力体制を充実させ、ニーズに応じた協力が得られる環境を整える。				
			事業内容	各種スポーツイベント等の円滑な運営を図るため、スポーツボランティア登録制度を設置し、スポーツボランティアの発掘・育成を図る。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	今年度実績はなかったものの、次年度以降にレイクスターズと連携し事業を実施する方向性を見出すことができた。	区分	検討	検討	新規	継続	継続
			課題	ボランティアの活動する場が少ないので、市やスポーツ協会主催のスポーツイベントの他、各種スポーツ団体と連携し、活躍の場を広げる必要がある。	計画	先進事例研究	登録制度設計	登録者数 30名	登録者数 35名	登録者数 40名
			評価	2 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	県等の事例研究 制度設計に向けたアイデア抽出	登録制度創設 登録者数 27名 実施回数 4回	登録者数 27名 実施回数 0回		

(1) 指導者の育成・ボランティアの育成

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
④ スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツ保健課	実施主体	草津市				
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ				
				目標	新たなスポーツボランティアの発掘・育成を図り、スポーツを支える人材確保につなげる。				
				年度	H28	H29	H30	H31	H32
				区分	継続				
				計画	ボランティア協力数 5人	ボランティア協力数 7人	ボランティア協力数 9人	ボランティア協力数 15人	ボランティア協力数 18人
事業内容	各種スポーツイベント等において、スポーツボランティアの積極的な受け入れを行い、スポーツボランティア機会の充実を図る。								
成果	滋賀県がスポーツボランティア制度を委託しているレイクスターズと連携し、草津市駅伝競走大会へのボランティア協力を進めた。								
課題	ボランティアの確保とその活躍の場について、関係団体と連携しながら充実を図る必要がある。また、市民を対象としたスポーツイベントでは、学区体育振興会やスポーツ協会、立命館大学等、多くのボランティア支援を得ている。								
実績	ボランティア協力数 3人	ボランティア協力数 1人	ボランティア協力数 2人 関係団体協力数 延べ390人 (協力団体:スポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ・体育振興会連絡協議会・立命館大学 など)						
評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった							
(2) 新たなスポーツ情報発信の充実	① ホームページを活用した情報発信の充実	草津市スポーツ情報ネットの充実	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体				
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会				
				目標	市民の多様なニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、市民のスポーツに対する関心の高まりにつなげる。				
				年度	H28	H29	H30	H31	H32
				区分	継続				
				計画	HPアクセス数 76,000	HPアクセス数 82,000	HPアクセス数 88,000	HPアクセス数 94,000	HPアクセス数 100,000
事業内容	社会体育施設のHP「草津市スポーツ情報ネット」の充実を図るため、スポーツ関係団体の活動情報等の相互リンクや、予約情報システム導入の検討を行う。								
成果	社会体育施設のHP「草津市スポーツ情報ネット」でRSSを活用して市内の新着情報の共有や、SNSとの連動、音声による施設の紹介等、スピード感があり、工夫した情報発信を行った。その結果、予約状況閲覧システムのアクセス数の増加に繋がり、当HPへのニーズの高さが分かった。								
課題	HPアクセス数は減少しているため、現在の状況を維持していくとともに、市内のスポーツ団体等の情報と連携し、より魅力的な情報の発信を進める必要がある。								
実績	HPアクセス数 195,285 予約状況閲覧システムアクセス数 242,242	HPアクセス数 213,022 予約状況閲覧システムアクセス数 305,250	HPアクセス数 146,691(12月末現在) 予約状況閲覧システムアクセス数 284,662(12月末現在)						
評価	4	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった							
(2) 新たなスポーツ情報発信システムの構築	② 各種情報メディアを活用した情報発信の充実	草津市スポーツ情報紙の発行	スポーツ保健課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体				
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会				
				目標	市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整え、市民の積極的なスポーツ活動への参画につなげる。				
				年度	H28	H29	H30	H31	H32
				区分	検討	検討	新規	継続	継続
				計画	先進事例研究	市内スポーツ情報集約	情報紙発行	情報紙発行	情報紙発行
事業内容	市内のスポーツイベントや、各スポーツ関係団体の活動状況等の情報を集約したスポーツ情報紙を発行し、スポーツ情報のより効率的・効果的な発信を行う。								
成果	過年度の結果や反省を生かし、提供する情報の収集に努めた。その結果、計画通りのスポーツ情報の発信をすることができた。								
課題	市民の情報誌への関心を集めるために、記事の内容や組み立て等を他市事例を参考にして、引き続き工夫する必要がある。								
実績	県体協の事例研究 情報紙発行に向けたアイデア抽出	スポーツ情報紙発行	スポーツ情報紙発行 (12月、3月(予定))						
評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった							

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	実施計画
① (仮称)野村スポーツゾーンの整備	野村公園整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学	目標	既存スポーツ施設の規模や機能強化により、様々な競技や大規模なスポーツイベント等の受け入れにつなげる。				
			事業内容	中心市街地活性化に貢献する集客拠点、かつ緑地やオープンスペースが不足する中心市街地のみどりの拠点となるよう、既存スポーツ施設の規模や強化等を核とした公園整備を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	計画通り、新体育館の建築工事を進め、供用開始に向けて事業進捗に努めた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
			課題	プロスポーツ等の大規模なイベントの誘致を進めていく必要がある。	計画	◆第1期事業 用地取得	◆第1期事業 建築工事	◆第1期事業(完了) 建築工事		
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	◆第1期事業 用地取得(約14,000㎡) ※H29.3.27土地売買契約締結	◆第1期事業 建築工事着手(2ヶ年)	◆第1期事業(完了) 建築工事 ※H31年3月末完了予定		
② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設の整備・充実	社会体育施設等整備改修事業(国スポ整備)	スポーツ保健課・プール整備事業推進室	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会	目標	国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の競技種目の開催に必要な施設規模を確保する。				
			事業内容	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けて、競技会場となる社会体育施設等の必要な整備・改修を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	(仮称)草津市立プールの施設整備の方向性等を定める計画として、(仮称)草津市立プール整備基本計画を策定した。	区分	検討	新規	継続	継続	継続
			課題	2024年に開催予定の国スポ、障スポに向けて、また大会後の施設の利用を見据えて施設整備を進める必要がある。	計画	競技種目等の情報収集	競技会場の整備・改修 ・野村公園体育館	競技会場の整備・改修 ・野村公園体育館 ・(仮称)草津市立プール	競技会場の整備・改修 ・(仮称)草津市立プール	競技会場の整備・改修 ・(仮称)草津市立プール
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	競技種目の内定 ・バレーボール(成年男女) ・バスケットボール(少年女子) ・ソフトボール(少年男子)	競技種目の内定 ・軟式野球(成年男子) 競技会場の整備 ・(仮称)草津市立プール整備計画の策定に着手	・(仮称)草津市立プール整備基本計画を策定		
(3) 社会体育施設等の整備・充実	社会体育施設整備改修事業(営繕)	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
			関係団体等	スポーツ協会	目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
			事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能を維持していくために、施設に必要な改修等を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
			成果	ふれあい体育館の機能維持を目的とした改修・補修の設計を行った。また、必要な修繕に適宜取り組んだ。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
			課題	市内社会体育施設の機能維持のみならず、経年により老朽化が進む付帯施設や、既存の施設への改善要望に対するの対応等を計画的に実施し、より市民に利用しやすい施設にしていく必要がある。	計画	必要な整備・改修 ・常盤東健康広場 ・武道館武道場床 ・ふれあい体育館外壁	必要な整備・改修 ・三ツ池テニスコート整備	必要な整備・改修	必要な整備・改修	必要な整備・改修
			評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった	実績	常盤東健康広場 グラウンド舗装改修 ・武道館武道場床 床塗装補修 ・ふれあい体育館外壁 外壁補修	三ツ池テニスコート整備 クレイ4面 ・総合体育館屋外排水設備	ふれあい体育館屋根等 工事設計		

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価					
				実施計画					
④ 地域まちなづくりセンター等の活用	地域まちなづくりセンター貸館事業	まちづくり協働課	実施主体	草津市					
			関係団体等						
			事業内容	地域まちなづくりセンターにおいて各諸室の貸館を行い、健康体操やダンス等の運動・スポーツができる場所を提供する。					
			成果	健康体操やダンス等のスポーツ、軽運動ができる場所の提供のため、市内全14の地域まちなづくりセンターで諸室の貸館を行った。このことにより、多数の方が気軽に運動・スポーツができる場所の充実につなげた。					
			課題	利用者の年齢層に偏りがあることから、あらゆる世代の方に施設を利用いただけるよう、施設の周知等を積極的に行う必要がある。					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
目標	地域まちなづくりセンターの貸館を通じて、市民が身近に運動・スポーツができる場所や機会の充実につなげる。								
年度	H28	H29	H30	H31	H32				
区分	継続		継続		継続				
計画	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館				
実績	貸館施設 14館	貸館施設 14館	貸館施設 14館						
⑤ 公園の整備・充実	児童公園等再整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市					
			関係団体等	各町内会					
			事業内容	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、地元町内会の意見等を聴くことで、利用者ニーズの把握に努めながら、再整備(リニューアル)、改修を行う。					
			成果	地元町内会の意見等を踏まえながら市内12箇所の公園再整備を行うことで、身近にスポーツができる環境の整備につなげた。					
			課題	市内約300箇所の公園で老朽化が進んでおり、長寿命化対策が必要となっているが、財源確保等の課題により、抜本的な対策が進んでいない。					
			評価	3	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
目標	利用者ニーズに合った公園の再整備を行うことで、子どもの外遊びの機会を増やし、基礎体力の増進につなげる。								
年度	H28	H29	H30	H31	H32				
区分	継続		継続		継続				
計画	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所	公園再整備 3箇所				
実績	公園再整備 3箇所 ・野村下伊屋田児童遊園 ・田白児童公園 ・木川四石舞児童公園	公園再整備 4箇所 ・野村東公園 ・追分丸尾北公園 ・野路下北池南児童遊園 ・野村南浦児童公園	公園再整備 12箇所 ・西一第二児童遊園・木川六ノ坪児童公園 ・田白児童公園・若草三丁目児童遊園 ・東原児童公園・山寺十徳児童遊園 ・新浜上屋敷第一児童遊園 ・矢倉町まちなかグリーン ・山寺健康広場・笠巻児童公園 ・野路下北池南児童遊園 ・三角地公園						
(4) 学校体育施設開放の充実	学校体育施設開放事業	スポーツ保健課	実施主体	草津市					
			関係団体等	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ					
			事業内容	市内小・中学校の学校体育施設を広く開放し、市民が身近にスポーツができる場所の充実を図るとともに、地域スポーツクラブ等による学校開放運営を推進する。					
			成果	学校体育施設の開放を通じて、市民が気軽にスポーツができる場所の充実につなげた。また、老上西小学校(体育館)開放の事務および運営等を地域スポーツクラブである「ALL老上スポーツクラブ」に委託し、地域によるスポーツ活動・運営を推進することが出来た。					
			課題	利用希望が輻射している学校もある現状を踏まえて、よりよい学校開放のルールを検討していく必要がある。					
			評価	4	5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった				
目標	身近な場所でスポーツができる環境を整えることにより、市民の活発なスポーツ活動につなげる。								
年度	H28	H29	H30	H31	H32				
区分	継続		継続		継続				
計画	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 6校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 8校 中学校 1校				
実績	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校	開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 5校 中学校 1校						

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
				実施主体	関係団体等	事業内容	成果	課題	評価	目標	年度
(5) 企業等管理施設の有効活用	① 企業等管理施設の有効活用	企業等管理施設の一般開放の検討	スポーツ保健課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	企業等	目標	体育施設を保有する企業の協力を得て、より市民が身近にスポーツができる場所の充実につなげる。				
				事業内容	市内のスポーツができる場所を充実させるため、企業等と連携・協力し、企業等が保有する体育施設の市民への一般開放を検討する。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	制度の創設に至らなかったが、立命館大学の協力のもと、大学施設を利用したスポーツ大会等を開催することができた。	区分	検討	検討	新規	継続	継続
				課題	企業の施設を利用することは不特定多数の入退場を許可しなければならぬというセキュリティ上の大きな課題がある。	計画	先進事例研究	一般開放制度設計	一般開放制度創設	協力企業数 2企業	協力企業数 3企業
				評価	2 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	企業保有施設情報収集	事例研究・課題整理	立命館大学BKCCクインズスタジアム、スポーツ健康 commons を利用		
(6) スポーツ観戦機会の充実	① (仮称)「野村スポーツゾーン」等の推進	野村公園整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学	目標	既存スポーツ施設の規模や機能強化により、様々な競技や大規模なスポーツイベント等の受け入れにつなげる。				
				事業内容	中心市街地活性化に貢献する集客拠点、かつ緑地やオープンスペースが不足する中心市街地のみどりの拠点となるよう、既存スポーツ施設の規模や強化等を核とした公園整備を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	計画通り、新体育館の建築工事を進め、供用開始に向けて事業進捗に努めた。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	プロスポーツ等の大規模なイベントの誘致を進めていく必要がある。	計画	◆第1期事業 用地取得	◆第1期事業 建築工事	◆第1期事業(完了) 建築工事		
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	◆第1期事業 用地取得(約14,000㎡) ※H29.3.27土地売買契約締結	◆第1期事業 建築工事着手(2ヶ年)	◆第1期事業(完了) 建築工事 ※H31年3月末完了予定		
	② 近隣自治体等との連携	自転車競技大会の開催協力	商工観光労政課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	京都府自転車競技連盟、滋賀県自転車競技連盟	目標	自転車競技大会の開催を通じて、市内外への草津市の魅力等の発信につなげる。				
				事業内容	烏丸半島で開催される「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の自転車競技大会の開催協力を行う。	年度	H28	H29	H30	H31	H32
				成果	烏丸半島での「草津ナイトレース」の開催協力をを行い、本市の観光PRを図った結果、参加者や観戦者に烏丸半島を含めた本市の魅力を発信できた。なお、「関西シクロクロス」は中止になった。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	市内外への草津市の魅力等の発信に繋がる機会であるため、烏丸半島以外の観光施設についてもより効果的な魅力等の発信を行う必要がある。	計画	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。
				評価	3 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった	実績	・草津ナイトレース 7月30日、8月6日 ・関西シクロクロス 12月25日	・草津ナイトレース 7月29日、8月5日 ・関西シクロクロス 12月24日	・草津ナイトレース 7月21日、8月4日		